

山口県肝疾患診療連携拠点病院
山口大学医学部附属病院 肝疾患センター主催

山口県肝疾患コーディネーター研修会 開催報告

山口大学医学部附属病院
肝疾患センター事務局

この度、令和2年年2月15日（土）にANAクラウンプラザホテル宇部にて、山口大学医学部附属病院肝疾患センターと山口県の共催で、肝炎医療コーディネーターを対象とした、山口県肝疾患コーディネーター研修会を開催し、140名の方々が受講されました。

《講 演》

山口県健康福祉部健康増進課 中司 ひかり調整官による開催の挨拶後に 当院の肝疾患センター 日高医師より「ウイルス性肝炎の最新治療」、本院の消化器内科 佐伯医師より「肝がんの最新治療」と題して講演をして頂きました。

《アンケート》

肝炎等克服政策事業「肝炎ウイルス感染者の偏見や差別被害防止への効果的な手法に関する研究」（研究代表者 長崎医療センター 八橋弘先生）で実施してるのウイルス性肝炎に関するアンケートを実施しました。

《パネルディスカッション》

当院患者相談支援センターの結城師長と増井看護師の進行のもと、光市立大和総合病院の池田臨床検査技師、長門総合病院の田村MSW、山口大学医学部附属病院の増井看護師、徳山中央病院の植野看護師に「コーディネーター活動の好事例」を発表していただき、その後ディスカッションを行いました。

講演では講義がたいへんわかりやすかった、新しい知識を得られてよかったといった感想が多く聞かれました。また、パネルディスカッションでは 活動の参考になった、自分たちもやってみいたい等の意見をいただき、とても有意義な研修会となりました。令和元年度新規コーディネーターを除く116名の方に山口県肝疾患コーディネーターとしての任期更新認定証を公布しました。

《研修会風景》

